

■除草剤：農業用

シング®乳剤

成分 ピリブチカルブ……12.0%
 プレチラクロール……8.0%
 物理的・化学的性状 黄色澄明可乳化油状液体

登録番号：18541
 毒性：－
 消防法：第2石油類
 有効年限：5年

包装：500ml×20

◆特長

- 水田の代かき後に容器のまま原液で散布できる、省力性の高い除草剤です。ただし風の強い時には、使用を避けて下さい。
- 移植前及び移植直後処理で残効性もあるので、ゆとりのある雑草防除が出来ます。
- ホタルイ、ミズガヤツリにも優れた効果があり、一年生雑草から多年生雑草まで広範囲の雑草に、的確な効果を発揮します。

◆適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピリブチカルブを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	移植後～ 移植7日前まで	500ml/10a	1回	原液湛水散布	2回以内	2回以内
		移植時 (移植7日前まで)			移植時に原液のまま散布し混和する。		
	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	移植後～ 移植7日前まで	300ml/10a (少量散布)		原液湛水散布		
		移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、 移植後30日まで					

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2)本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、ホタルイ、ミズガヤツリに対しては発生始期までに使用すること。
- (3)散布に当たっては、水の出入りを止めて、湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保つこと。また、散布後7日間は落水しないこと。
- (4)必要に応じて後処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失ないように散布すること。低温で長期にわたり雑草が発生する場合、代かきから移植までの期間が長い場合は特に注意すること。

- (5) 本剤を移植後に散布する場合は、水稻になるべくかからないようにすること。
- (6) 代かきをていねいに行い、移植後しばらくは苗が水没しないように管理すること。
- (7) 徒長軟弱苗の場合や、極端な漏水田（減水深2 cm/日以上）及び著しいガス発生田では使用をさけること。
- (8) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行うこと。
- (9) 本剤は自動車の塗装面等に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意すること。また、トラクターの塗装面にかかると変色するおそれがあるので、機械散布（乳剤専用散布機）には使用しないこと。
- (10) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (11) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (12) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (5) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (6) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

◆魚毒性

- (1) 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- (2) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (4) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。